

いのちに意味がある

～私たちは何を大切にしてきたのか～

近年、単身世帯の増加や少子高齢化、地域のつながりの希薄化等を背景として、生活困窮、ひきこもり、虐待など地域における福祉問題は複雑かつ多様化してきており、地域社会の中で生活のしづらさを感じている人が増えてきています。また、それらの問題は見えにくく、問題が深刻化した状態になってから発見されることが多く見受けられます。

誰もが住み慣れた地域の中で孤立することなく安心して暮らしていくためにも、共に生きていく「共生・共助」の視点で、地域住民と関係機関の連携・協働による予防策や対応策を講じる必要があります。

この度、社会貢献活動に取り組み、地域住民の抱える困難な福祉課題の解決などに向けた公益的な事業を行い、社会福祉法人の役割や使命を果たすことを目的に設立された松江市社会福祉法人連絡会では、松江市社会福祉協議会とともに市民のみなさまに取り組みを知って頂く機会として、下記により市民公開シンポジウムを開催いたします。

日時

令和2年 2/21 金

●開場：13：00

●開始：13：30～16：30 終了予定

会場

松江市総合福祉センター
4階大ホール

(松江市千鳥町70番地)

※裏面の地図をご覧ください

参加費
無料

開 会 》 13：30～13：40

基調講演 》 13：40～15：10

「いのちに意味がある」

～私たちは何を大切にしてきたのか～

NPO法人抱樸

理事長 奥田 知志 氏

シンポジウム 》 15：20～16：30

実践報告

～社会福祉法人の取り組みを通して～

閉 会 》 16：30

■講演者 職歴・経歴

1963年7月滋賀県大津生まれ。

関西学院大学神学部大学院修士課程
卒業、西南学院大学神学部専攻科卒業。

学生時代に訪れた大阪市・釜ヶ崎
(現：あいりん地区)の日雇い労働者の

現状を目の当たりにし、ボランティア活動に参加したことが
きっかけで、以来、ホームレス支援に関わり続けている。

1990年、日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会の牧師
就任。同時に抱樸の前身となる北九州越冬実行委員会の事務
局長に就任。

2000年、NPO法人として認証を受け、北九州ホームレス
支援機構を設立。理事長に就任。

2014年、団体名称を現在の「抱樸(ほうぼく)」に変更。

現在、北九州を中心に、3カ所の自立支援施設を運営す
る。北九州で活動開始後、30年で3200人以上のホームレス
を自立へと導き、自立継続率も9割以上という驚異的な実績
を持つ。

ホームレス支援全国ネットワーク代表等も務め、NHK「プ
rofessional仕事の流儀」に2度出演するなど、その活
動は、マスコミにもしばしば取り上げられている。



タイムスケジュール

- 13:00~13:30 受付
13:30~13:40 開会
13:40~15:10 基調講演
「いのちに意味がある」
～私たちは何を大切にしてきたのか～
NPO 法人抱樸 理事長 奥田 知志 氏
15:10~15:20 休憩
15:20~16:30 シンポジウム
実践報告 社会福祉法人みずうみ
社会福祉法人島根ライトハウス
(コーディネーター) 島根大学人間科学部准教授
加川 充浩 氏
(コメンテーター) NPO 法人抱樸理事長
奥田 知志 氏

申込先・問合せ先

松江市社会福祉協議会地域福祉課
松江市ボランティアセンター(担当 安部・加茂)

TEL (0852) 27-8388

FAX (0852) 24-1020

E-mail/volunteer@shakyou-matsue.jp

参加定員・対象

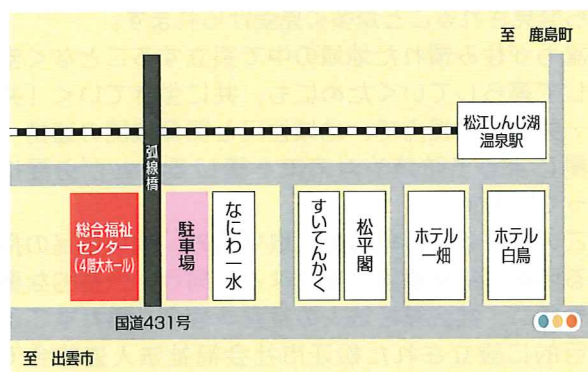
200名

- ・定員になり次第締め切りますのでご了承ください。
- ・松江市民の方ならどなたでもご参加いただけます。

会場

松江市総合福祉センター 4階大ホール

(松江市千鳥町70番地)



※駐車場に限りがございますので、できるかぎり公共交通機関をご利用いただくか、乗り合わせでお出かけいただくなどご留意ください。

※会場内は空調の微調整が難しいため、ご参加のみなさんには服装等で調整いただくか、ひざ掛けなどご持参ください。

参加申込記入欄

FAX (0852) 24-1020

**2/3(月)
締切**

松江市社会福祉法人連絡会・松江市社会福祉協議会 市民公開シンポジウム
「いのちに意味がある」～私たちは何を大切にしてきたのか～

氏名	所属またはお住まいの地区	電話番号